

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理学研究法		選択	2	3(～24) 2.3(25)	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
須永 範明	講師控室	kyoumu	随時メールで質問等受付		
授業の目的・概要	<p><目的>心理学における実証的な研究実践がもつ重要性を理解することが目的である。また、代表的な研究法について学び、心理学の研究に特有の問題について理解することも目的である。</p> <p><概要>心理学は「こころ」の働きを科学的に探究する学問である。本講義ではまず、科学とは何であるか解説する。次に、心理学が開発してきた代表的な研究法を解説する。倫理的問題等についても解説する。なお、Microsoft Teams を用いた同時双方向型授業（オンライン授業）を行なう。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デバート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> その他 (授業内小テスト)				
学習上の助言	事前に教科書と配布資料で予習した上で授業に参加していただきたい。授業内で実施する小テストで理解度を自己確認できる。正解しなかった箇所を再学習することで、理解を深めることができる。				
教科書	心理学研究法 心を見つめる科学のまなざし 第3版/編：高野陽太郎、岡隆/有斐閣/2025年				
参考書	授業時に適宜紹介する。				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	科学的な研究方法がどのようなものであるかを述べるができる。			HC(3)、(5)	
②	心理学における代表的な研究方法の特徴とその長所・短所を述べるができる。			HC(3)、(5)	
③	データを用いた実証的な思考方法を理解できる。			HC(3)、(5)	
④	人間を対象とする心理学研究に特有の問題（倫理等）について説明できる。			HC(3)、(5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	オリエンテーションを行なう。続いて、科学とは何か学ぶ。	同時双方向型授業	シラバスと教科書の該当頁、配布資料を熟読し理解する。	4	
2	実証の重要性、因果と相関、実証のロジックについて学ぶ。	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当頁と配布資料を熟読する。授業時に実施する小テストで自身の理解度を確認できる。事後学習として理解の十分でなかった箇所を再学習したうえで、授業内容全体を復習して理解を確実なものにする。	4	
3	実験的研究と観察的研究の違い、長所と短所、構造について学ぶ。	同時双方向型授業		4	
4	実験法における独立変数の操作について学ぶ。	同時双方向型授業		4	
5	実験法における従属変数の測定について学ぶ。	同時双方向型授業		4	
6	実験法における剰余変数の統制について学ぶ。	同時双方向型授業		4	
7	実験法の種類と特徴について学ぶ。	同時双方向型授業		4	
8	心理学に特有な問題として、観察反応について学ぶ。	同時双方向型授業		4	
9	心理学に特有な問題として、内観法の限界と対策、および倫理的問題について学ぶ。	同時双方向型授業		4	
10	調査法とはなにか、および質問の作成について学ぶ。	同時双方向型授業		4	
11	調査方法の種類について学ぶ。	同時双方向型授業		4	
12	観察法について学ぶ。	同時双方向型授業		4	
13	面接法について学ぶ。	同時双方向型授業		4	
14	検査法について学ぶ。	同時双方向型授業		4	
15	研究を実施する際の問題について学ぶ。	同時双方向型授業		4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照。				

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		50	0	0	0	50	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	40	0	0	0	30	70	
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	10	10	
評価のポイント			評価の実施方法と注意点					
評価方法	行動目標						フィードバックの方法	
試験	①	✓	講義内容の理解度について学期末に定期試験を実施し評価する。授業の全範囲から出題する。心理学研究法の専門用語を正しく理解しておく必要がある。実験法、調査法、観察法、面接法の特徴を説明できるようにしておく必要がある。					Microsoft Teams を利用して個別にフィードバックを行う。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	毎回の授業で小テストを実施する。一人一人の理解の程度を自己確認するとともに、理解の不十分な箇所を見つけ再学習することで理解を深めるために行なう。					Microsoft Teams 上で小テストを実施する。解答は即座に採点され、得点および各設問の正誤がフィードバックされる。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験	なし							
実践的授業の内容	該当せず							
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ● 本科目は公認心理師試験の指定科目「心理学研究法」に対応した科目である。 ● Microsoft Teams を用いた同時双方向型授業（オンライン授業）を行なう。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 							